

YACかわら版 419

2023年12月20日

パラドロップ

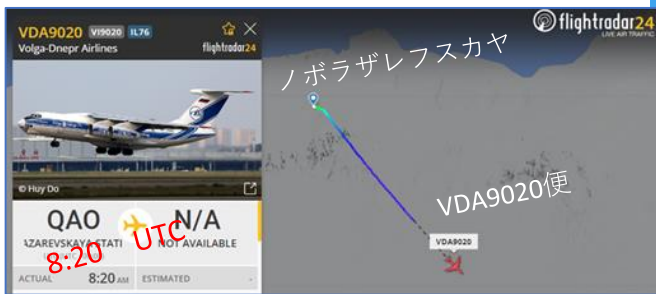
YACかわら版418で紹介したドームふじチーム(65次先遣隊11名と64次越冬隊4名)は11月13日昭和基地から、内陸に約1000km、標高差3,000m以上の場所にある「ドームふじ観測拠点」へ出発し、12月2日に到着しています。

12月16日、ドームふじチームに、航空機からパラシュートをつけた物資を届ける、パラドロップが日本の南極地域観測隊として初めて実施され、成功したたそうです。

ブログの写真の飛行機は、YACかわら版418で紹介したドロマランのイリュージョン76のようです。

「flightradar24.com」で12月16日の南極大陸の航空機の動静を調べてみると該当する飛行がありました。

VDA9020便です。



観測隊ブログでは、実施時間が12月16日12:55～14:15とあります。世界協定時刻 (UTC) では、9:55～11:15ですから、VDA9020便が実施したものと推察されます。

12月20日昭和基地西南西約18kmの「しらせ」から昭和基地にヘリコプターで初荷を届けたそうです。

日本の観測基地



4発ジェット
高翼
T型垂直尾翼
機体塗装

イリュージョン76?



物資投下の様子
撮影：JARE65 竹田賢史

ドームチームが整備したドロップエリアの目印 (右側の四角で覆われた範囲) 800×400m のエリアを指定します。

撮影：JARE65

風で流されたら大変
ですね



物資投下の様子
撮影：JARE65

<https://nipr-blog.nipr.ac.jp/jare/20231218post-426.html>

<https://nipr-blog.nipr.ac.jp/jare/20231202ll.html>

<https://www.nipr.ac.jp/antarctic/jare/map65.html>

<https://www.nipr.ac.jp/antarctic/jarestations/>